

市政を問う！

一般質問

6月定例会では、15・16・17日の3日間で16人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



議長
大石 圭子



一般質問

「将棋種目」 蕨市で開催！
ねんりんピック彩の国
さいたま 2026 へ



心のこもったおもてなしで笑顔あふれる大会に

議員 本市の障害者福祉を支えてきた民間グループホームは、人手不足や経営の脆弱性により、事業継続や施設運営の安定的な維持が危ぶまれている。専門人材

障がい者グループホームの存続危機と地域福祉基盤の強化について

議員 いまだに市民の間では、ねんりんピックの開催や将棋大会の招致等、十分に知られていないように思う。地域一体となつて盛り上げられるよう、早急かつ戦略的な周知活動を展開されることを強く期待する。

議員 本市が誇るあつたか市政の名に恥じない、一歩踏み込んだ独自支援とスピーディな決断を強く要望する。

議員 本市が誇るあつたか市政の名に恥じない、一歩踏み込んだ独自支援とスピーディな決断を強く要望する。

健康福祉部長 現在は、市外2か所のグループホームが介護者の急病等の、緊急時の際に受け入れる体制を整えている。今後、市内登録事業所を増やしていくことで、地域生活支援拠点等事業の体制強化を目指していきたい。

議員 地域生活支援拠点としての機能強化についてはどのようなか。

健康福祉部長 現在、市の拡大が行われている。地域の事業所と連携しながら、効果的な取り組みについて検討していきたい。

健康福祉部長 障害福祉分野の人材確保及び定着は全国的な課題であることから、3年ごとの報酬改定を待たずに、本年6月より処遇改善加算の見直し及び拡充が実施されるとともに、相談支援専門員等の拡大が行われている。地域の事業所と連携しながら、効果的な取り組みについて検討していきたい。

健康福祉部長 障害福祉分野の確保・定着支援についてはどのようなか。



おかだ みきお

ねんりんピック彩の国さいたま2026の成功と
蕨市の未来に向けたレガシーの創出について



録画配信

岡田 みきお 議員(わらび未来の会)

認知症対策について



録画配信



やじま さとこ

議員 J-DEPPは、認知症を早期に発見し、栄養介入と社会参加を組み合わせて支援することで、認知症の発症や進行を予防する取り組みである。一人暮らしや高齢者のみの世帯では、食事内容の偏りや低栄養のリスクが高まる

がら、栄養士による栄養相談、料理教室等を通じて、認知症予防、フレイル予防と社会参加を一体的に進める取り組みの充実を要望する。

中学校の修学旅行について

議員 他自治体では修学旅行費に対する一定額の公費補助や、旅費の上限額を設定することで、保護者負担の軽減を図る取り組みも見られる。本市においても研究・検討する考えはあるか。

健康福祉部長 地域包括支援センターでの相談対応や訪問活動により栄養状態の把握に努めており、支援が必要な場合は配食サービス等、必要な栄養支援につなげている。

議員 物価高騰により保護者の負担が年々増している。負担軽減に向けた方策について研究を進めていただくことを強く要望する。

健康福祉部長 本市ではフレイル予防教室等を通じて栄養改善と社会参加の促進を一体的に進めており、昨年度は、独居高齢者の食生活改善のための事業を実施した。

議員 ウォーキングマップ及び路面シートについて、市民への周知はどのようなか。

議員 認知症力フエやいきいき百歳体操等の場を活用しな

健康福祉部長 市ホームページや広報紙等での周知のほか、ウォーキングマップは、全戸配布を行う等、周知・利用促進に努めている。

議員 健康寿命の延伸や介護予防につながる取り組みとして、今後の活用はどのようなか。

健康福祉部長 今年度は5つの公民館でウォーキングコースを活用したウォーキング教室を開催するとともに「蕨あるこうキャンペーン」等で周知を図り、活用を促進することで健康寿命の延伸や介護予防につなげていきたい。

議員 効果的な施策の推進につながることを期待している。

健康福祉部長 効果的な施策の推進につながることを期待している。



ウォーキングコースの周知及び活用を

子育て世代が住み続けたい蕨を目指して



録画配信



しょうの こうじ

議員 本市では、近年マンション建設が進み、新たな住民の流入が続く中、子育て世帯やファミリー世帯に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりは、今後の地域活力を維持していく上で非常に重要と考える。子育て世代に定住してもらうという視点について、本市の考えはどのようなか。

議員 近隣自治体でも様々な政策に力を入れている中で、本市だからこそ選ばれる理由をどのように考えるか。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。

議員 子育て支援、教育環境、公園や公共空間の充実、防災、防犯、地域コミュニティ等が一体となつて初めて住みたい、住み続けたいと思えるまちが形成される。市全体で連携しながら、市民のためのまちづくりを進めていただくよう要望する。



議員 給水機設置による市民サービス向上や環境負荷軽減の効果についてはどのようなか。

議員 市民の命と市民サービスを支える職員の安全を守ることで、その両方が大切であり、引き続き取り組みを進めていただくことを要望する。

熱中症対策は部署横断で推進を

議員 過去3年間の熱中症による救急搬送者数の推移はどのようなか。

議員 令和5年が54名、令和6年が63名、令和7年が60名となっている。

議員 市民の命と市民サービスを支える職員の安全を守ることで、その両方が大切であり、引き続き取り組みを進めていただくことを要望する。

ペットとの同行避難について



録画配信



ひき こうじ

議員 東日本大震災では、取り残されたペットが野生化し、能登半島地震では、ペット連れの被災者の受け入れを拒む避難所があり、災害時のペット同行避難が問題となった。県ホームページでは、震災からペットを守る「か」飼い主のマナー、「ぎ」キャリーケース、「く」薬・ご飯、「け」健康管理、「こ」行動・しつけについて周知と、日頃から心がける準備を分かりやすく説明している。本市でも周知してほしい。

市民生活部長 「か・き・く・け・こ」の趣旨と同様に、他の避難者への配慮として、しつけをしておくこと、ペット用の防災用品を準備しておくこと等、市ホームページへの掲載をはじめ、犬のしつけ方教室等を通じて、周知・啓発を行っている。

議員 犬のしつけ方教室の詳細はどのようなか。

市民生活部長 戸田蔵狂大病予防協会により、年1回行っており、令和7年度は西公民館で「ペット防災、日頃からの備え」と題して講演を行った。

議員 避難所でのペット飼育スペースの検討はどのようなか。

市民生活部長 ペットを飼育していない方とできる限り交わらないようにする等、避難所運営の妨げとならないような配慮が必要と考える。飼育スペースをあらかじめ想定していくことが望ましいと考えており、今後、自主防災会と避難所となる施設の管理者、市

の3者が協議する避難所運営協議会において検討していく。

議員 避難所ごとに検討していく上で、情報共有をしていくのか。

市民生活部長 避難所運営協議会は市内19か所の指定避難所ごとに設置しており、本年度はそれぞれの指定避難所でのスペースをどのような使用を想定するのかといった協議をしたいと考えている。最終的には各避難所の運営マニュアルに、それぞれの避難所で協議した情報も反映させていきたい。

議員 ペットを避難所に連れていくことが難しい場合は、

親戚や友人を頼って県外への避難や車中泊等も考えられる。今後、どのような形が市民にとってよいのか、防災部局、環境部局と連携して、調査・研究していただきたい。

ほかに 「こども誰でも通園制度」、「紙の教科書・デジタル端末からの学び」等について質問。

一般質問

市立病院における人材確保・人材活用及び持続可能な組織体制の構築について



録画配信



とちもと よしかね

議員 病院経営を取り巻く環境が厳しさを増す中、経営改善や医療DX、地域医療連携、人材育成、広報機能の強化等の分野において、専門知識や経験を有する外部人材の活用についてどのように考えているのか。

病院事務局長 これまで民間の医療機関等で勤務経験を有する人材を数名採用してきたが、今後は、市から着任した職員も研修を受講する等の人材育成を行っていくほか、外部人材のさらなる活用についても検討していく。今年度は外部アドバイザーによる様々な助言も参考にしながら経営改善等につなげていきたい。

議員 タスクシフト・タスクシェアの推進についてどのように考えているのか。

病院事務局長 医師や看護師の負担軽減のためには業務分担、業務移管を進めるための多職種連携が不可欠であり、医療従事者の定着促進の観点からも積極的に推進すべき課題の1つと認識している。

議員 今後は新病院整備と経営改善を進める中で、医療従事者の確保だけでなく、病院経営や地域医療連携、医療DX等を担う専門人材の確保・育成についても積極的に検討されることを要望する。

コミュニティバスの利便性向上と地域公共交通を活用したまちづくりについて

議員 コミュニティバスを高年齢者の外出支援、健康づくり、地域交流及びにぎわい創出等、まちづくりの施策と連携して活用する考えについてはどのようなか。

市民生活部長 75歳以上の方を対象に無料パスを発行しており、高齢者の外出支援に加え、健康づくりにも寄与しているものと考えている。また、ぶらっとわらびを活用し、まちづくりイベントを実施してきたほか、「我がまち蔵の魅力発見」と題したウォーキングマップ、蔵ブランド認定品



市民の移動手段として重要な役割を果たしているぶらっとわらび

議員 本市のようなコンパクトなまちだからこそ、地域公共交通とまちづくりを一体的に進めることで、市民の利便性向上と地域活性化の双方につながることを期待している。

市民生活部長 戸田市の運用を参考としつつ、調査・研究していく。

映像を使った119番通報

「Live119」の導入を



録画配信



ほんだ ていこ

議員 「音声」「文字」による119番に加え、スマホのカメラを使用し、現場の映像を送るシステム「Live119」による第3の通報手段を導入することへの市長の見解はどのようか。

リユース（再利用）について

議員 リユースが進まない原因は、情報不足や利用機会の不足ではないかと考える。ごみとして出す前にリユースを検討してもらう仕組みづくりが必要だと思うがどうか。

市民生活部長 リユースは該当店舗を探したり、持ち込むといった手間がかかる。改めてリユースの重要性の周知・啓発を行うとともに、リユースの利用機会の創出につながる仕組みづくりを考えていく。

議員 自治体の財政負担がなく、職員の手間も増えず、大型家具・家電をリユースできる民間の一括査定プラットフォーム「おいくら」を導入してはどうか。

市民生活部長 先行自治体の運用状況や効果等を注視し、導入に向けて調査・研究する。

議員 リユースを新たな生活習慣として定着させ、市民が気軽に利用できる仕組みづくりを進めていただきたい。

議員 映像によるLive119によって救える命があることを確信しつつ、導入に向けて検討していただきたい。



映像で現場の状況をリアルタイムに伝えられる

ヤングケアラー支援について

議員 ヤングケアラー実態調査の調査結果はどのようか。

健康福祉部長 「何らかのケアをしている」と回答した児童・生徒は154人、6.3%で、「相談したい」と回答した4名を優先的に相談対応している。また、相談を希望しない児童・生徒も、支援の必要性が高い場合は相談支援の対象とし、対応していきたい。

議員 入間市は日本初のヤングケアラー支援条例を制定している。「人間モデル」についての見解はどのようか。

健康福祉部長 ヤングケアラー支援で大切なのは、本人だけでなく、家族丸ごとの支援をカスタマイズサポートしていると感じた。参考にして今後支援に力を入れていく。

議員 本市に住んでいてよかったと思うような支援体制をお願いしたい。

蕨市暮らし応援券「織りなすクーポン」（第3弾）について

「織りなすクーポン」（第3弾）について



録画配信



ふるかわ あゆみ

議員 商店街店舗からはPayPayキャンペーンを希望する意見があったが、全て商品券とした理由はどうか。

市民生活部長 紙のクーポン方式により、市民誰もが利用しやすい、市内事業所の売上増にもつながる有効な事業だと判断した。

議員 市公式LINEとコラボレーションしたキャンペーンを行うとのことだが、第3弾の予算可決後の用途変更の問題はないか。

市民生活部長 本キャンペーンは事業の目的と予算の枠内では実施されるものであり、ご

議員 指摘の用途変更には当たらないと考える。

議員 1月臨時会で議決した内容にはキャンペーンは含まれていなかった。また、いくつかの問題点があると考えており、疑義が生じるものないよう、もう少し考えていただきたいと強く要望する。

商店街の終活について

議員 商店街の衰退に伴い、解散を考える団体に対し、市が取り組むべきことは何か。

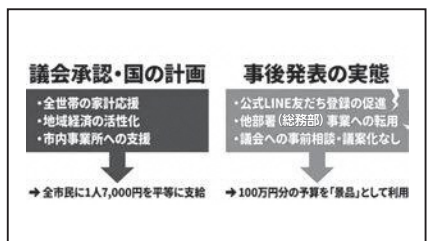
市民生活部長 適宜商店街から話を伺い、存続に向けた対応を協議していくほか、蕨商工会議所とも連携を図り、個別の商店の支援も進めていく。また、解散となる場合も、支援の継続や、近隣商店街、関係団体との連携・協力を行う等、必要な支援を進めていく。

議員 商店街の街路灯を市に移管することを提案するが、どのように考えているのか。

市民生活部長 街路灯や修繕積立金の状況等は商店街ごと

ほかに 「蕨市立病院の建

替えについて質問。



承認された予算はなぜ目的外のキャンペーンに転用されたのか

議員 委託することへのメリット、デメリットはどうか。

市民生活部長 民間事業者のノウハウやネットワークを生かすことで、その後の事業展開等が期待できる一方、その企業がいかに地域との連携を円滑に構築、継続できるかが重要な課題だと考えられる。

議員 観光協会のイベント運営委託を検討しているとのことだが、どのような形で関わることになる予定か。

市民生活部長 市が主催のイベントの補助業務にとどまる。

議員 実行委員会のマンパワー不足を感じるので一助となるようお願いしたい。

ほかに 「蕨市立病院の建

替えについて質問。

困難を抱える女性への支援について



録画配信



みやした なみ

問・要望した。

議員 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律では、DVや虐待、性的被害、孤独・孤立、経済的困窮等、様々な困難を抱える女性への包括的支援が求められている。本市においても「蕨市DV対策及び困難な問題を抱える女性支援基本計画」が策定され、

これまで一般質問で問題提起や要望をしてきた。困難を抱える女性が支援につながる、生活を立て直していくためには、行政内部の連携だけでなく、継続的な伴走型支援や地域とのつながりも重要である。私は5月に日本フェミニストカウンセリング学会の全国大会に参加し研修を受けた。そこで困難女性支援における「切れ目のない伴走型支援」や「官民連携」、「相談後支援」の重要性について学んだ。計画策定後の取り組み状況とDVや虐待等による社会等からの分断を背景に、孤立や経済的困窮を抱える女性への支援に対し、次のことを質問・要望した。

市民生活部長 相談内容が多岐にわたるため、関係部署で情報共有を図り、状況に応じた支援に取り組んでいる。

議員 相談しやすい環境づくりにしてはどのようなか。

市民生活部長 相談窓口の周知やプライバシーに配慮した相談環境の確保に努めるとともに、女性相談支援員の配置に加え、職員が研修等に参加し対応力の向上を図っている。

議員 支援が必要な方が相談窓口にたどりつけるよう、ホームページに分かりやすく明示し周知すべきだと考える。

支援後の継続的な伴走型支援についてはどのようなか。

市民生活部長 継続的な支援が必要なケースは、県や警察、医療機関等と連携しながら相談者へ連絡を取り、状況の確認や相談を継続

する等、支援が途切れないよう努めている。

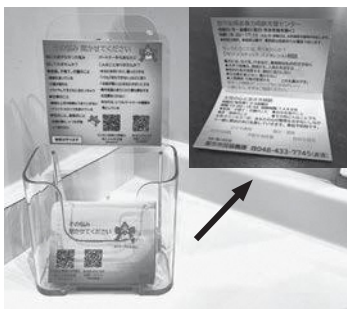
議員 相談者が転居した場合でも支援が途切れることのないよう強く要望する。

困難女性支援は、状況に応じて包括的かつ継続的に行う必要がある。「支援調整会議」の設置を進めてほしいが、本市の考えはどのようなか。

市民生活部長 現在はケースごとに対応しており、新たな会議の設置を要する状況に至っていない。今後の対応事業の状況等を踏まえて情報共有や課題の整理を進め、効果的な連携体制の強化に努める。

議員 設置については引き続き要望していく。

7月末からトイレのカードがリニューアルされました



7月末からトイレのカードがリニューアルされました

一般質問

物価高騰・ナフサ不足に蕨市独自の対策を



録画配信



すずき さとし

議員 中東情勢による物価高騰とナフサ関連製品等資材不足の影響は深刻であり個別の努力は限界。くらしと営業を守る対応を強く求める。日本政府は、早期の紛争終結、国連憲章等に基づく平和秩序の回復に向け、憲法を生かした外交で力を尽くすべき。本市の対応では、市内事業者の営業や市民生活の現状について把握し対応等を検討する全庁的な体制が必要と考える。また、コロナ禍の時より厳しいとの声もある。コロナ対策と同等の支援を含め検討を要望する。

事業者の資金繰り悪化等が懸念されるが、市税等の猶予や減免措置等はどうか。

総務部長 納付等の猶予、減免措置の何れでも柔軟に市民に寄り添い対応する。

議員 医療機関や介護・福祉事業者でも衛生関連用品の不足等の影響が報じられた。実態把握と適切な支援を求める。

ところで、市立病院の経営や医療行為、及び移転建替え事業への影響と今後の対応は。

病院事務局長 医療現場で消耗品等が欠品する状況はない。建替えでは建設資材等に影響が出始めており、コスト上昇の抑制を図る。

議員 全庁的な対応や本市の独自支援、国等への要望について市長の見解はどのようなか。

市長 市民生活や事業所は大変厳しい。まずは織りなすフォローを推進するとともに、全庁的に状況を把握して必要なことは対処する。商工会議所とも連携し、各事業所に寄り添った対応に努める。国へ

は全国市長会議でも原油価格高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する決議を上げる等危機感を持って対応している。紛争が国連憲章に基づき外交努力により1日も早く完全に終結し改善が図られるよう、日本政府も含めて関係機関が引き続き外交努力を強めていただきたい。そのことを求める発信については平和首長会議や全国市長会とも連携して努力したい。

京浜東北線ワンマン運転化について

議員 京浜東北線、南浦和一大宮間等でのワンマン運転化が来年度から実施されること等が発表されたが、実施された南武線等では遅延トラブルや事故対応への不安等、様々な課題が指摘されている。本市の見解はどうか。

総務部長 JRより課題や対策の報告を受けている。近隣市との連携を含め、必要な対応を適宜検討する。



中東情勢の影響はくらし・営業の様々な場面に

錦町スポーツ広場の利用について



録画配信

議員 戸田橋花火大会の日だけ錦町スポーツ広場のナイター利用を停止して、市民の方に花火を観やすい環境をつくるという粋な取り組みを行うことは可能なのか。

教育部長 利用を止める場合、周辺道路の安全性や近隣住宅への影響等、様々な懸念が考えられることに加え、スポーツを楽しむ機会を制限することにもつながることから、実施に当たっては慎重な検討が必要だと考える。

議員 年に一度の花火大会を観やすい環境をつくるという、市民の気持ちに寄り添ったことができるのは本市の特



花火大会が見やすい環境をつくるとみんなが笑顔になる

色になるのではない。前向きな検討をお願いする。

公共施設の老朽化について

議員 公共施設の老朽化について、建替えも見据えて検討しているのか。

総務部長 公共施設等総合管理計画において、基本目標を施設の長寿命化と総量の抑制と定めた。また、個別施設計画では、公共施設の安全性、機能性、経済性、代替性、社会性の5つの視点から、施設の維持・管理、更新の優先順位を検討することとした。建替えについては、利用状況等を勘案し、適正規模や施設の集約化、複合化等を含めて検討することとしている。

議員 第二中学校のスプリングカラーに不具合が生じているとのことであるが、対応はどのようなか。

教育部長 現在、専門



すずき しんのすけ

業者へ修繕に係る見積りの作成をお願いしており、今後は修繕の内容や予算措置の必要性も含めて、迅速な対応に努める。当面は手動で散水できるものを配置している。

議員 できるだけ早めに対応していただきたい。

第二中学校のPTA会議室にエアコンがない理由は何か。

教育部長 基本的には日常的に児童・生徒が利用する教室以外の各部屋への空調設置は、現時点では整備計画等はない。利用状況等を踏まえて設置を検討していきたい。

議員 西小学校では、近隣の方や保護者の方等が側溝を清掃するボランティア活動を行っているが、近年は降水量が多く、水浸しになっていることがある。対応はどのようなか。

教育部長 担当部署が現地確認を行い、土砂の堆積状況等の把握に努めている。学校と連絡を密に行い、業者委託の必要性、費用面等を含めて対応・検討をしていきたい。

富士山噴火に伴う火山灰被害について



録画配信

議員 平成25年3月定例会において、富士山噴火による降灰対策について質問してから13年が経過したが、富士山噴火のリスクがなくなったわけ

ではない。降灰災害について、市役所庁舎機能への影響をどのように想定しているか。

総務部長 中央防災会議が主催するワーキンググループが公表した富士山噴火をモデルケースとした降灰対策報告書によると、市庁舎周辺を含む

県南部では、最大2センチメートルから4センチメートルの降灰量と想定されている。市庁舎では停電や断水等の影響が想定されるが、「2024年度版『防災士教本』」によると「近代的な都市が実際に火山灰被害に遭遇したことがないため、生活環境や流通経済にどこまで被害が広がるかについては不明な点が多い」と記載されており、各種機械設備への降灰対策に加え、必要な物資の備蓄と被害状況に応じた柔軟な対応が必要と考

えている。

議員 火山灰から身を守るためには、マスクやゴーグルを着用し、体内に入れないことが大事である。また、建物に入る際には、段階的な除灰が必要であり、できる限り室内に持ち込まないよう市庁舎、病院、学校、保育園、公民館等で行っていただきたい。降灰災害は、発生頻度は高くないが、一度発生すると、市民生活、都市機能に大きな影響を与えてしまうことから、危機管理上、重要な課題として捉える必要がある。市長は降灰対策の必要性をどのように認識しているのか。

市長 富士山は活火山であり、いつ噴火するのかわからないということはしっかりと認識する必要がある。火山灰による交通機関、ライフライン、健康被害等への対策が必要であり、優先順位を整理し、備えておくことは危機管理上、大事な対策の一つである。全てでなくても、肝だけでもシミュレーションができていれば、いざというときに対策の差が出てくると思う。今回の提案をしっかりと受け止め、必要な対策は講じていきたい。

議員 災害が起きなかったとしても事前の備えは決して無駄にはならない。被害が発生してから慌てるのではなく、行政と市民が共に今のうちから備えることが大切である。

ほかに 「市民会館使用料の適正化及びスタインウェイ&サンズ社製のピアノ」について質問。



おおいし こういち



富士山頂上から見た火口

多国籍化が進む蕨、分断を生まず 誰もが安心できるまちへ



録画配信

議員 子どもたちは国籍も超えて言葉の壁も超えて日々暮らしている。子どもたちのそうした姿が、つなぎ手になっていくと感じる。一方で不安を感じる市民もいる。本市も外国人向けの生活オリエンテーションを開始し、政府も学習プログラムを創設する方針を示している。政府方針への評価はどのようなか。

市民生活部長 国が検討を開始した「国の制度・ルール等を学習するプログラム」は、日本に在留する外国人が来日前後、初期、中期、長期の各段階において、日本語や日本の制度、ルール等を学習するプログラムを受講するもので、当該プログラムの内容を理解していることが在留審査の考慮要素となることから、日本の制度やルール等について事前の習得が可能になり、日本で生活しようとする外国人が地域社会への理解を深める上で非常に有効な取り組みであると認識している。また、本

市では、今年度、毎月、外国人に対する新たな情報発信の場として、外国人住民にとっても生活の基盤となるごみの捨て方や生活マナー、税金や保険、保育といった個別の内容についても理解を深めていただける生活オリエンテーションを実施しているが、国のプログラム受講制度の開始により、本市が実施している生活オリエンテーションにおいて、実情やニーズに即して、より効果的な内容の情報発信を行うことが可能になるのではないかと考えている。

議員 本市における昨年度の外国籍住民の年間転入者数は約3700人。生活オリエンテーションの定量的、定性的なゴールはどのようなか。

市民生活部長 生活オリエンテーションは本年4月から開始し、現時点では参加者も限られていることから、まずは事業の定着とニーズの把握に努めている段階である。現時点において参加者数等の数値



かなまる けんじ

地区別・丁目別に見る外国籍住民比率			
塚越地区	19.70%	塚越7丁目	25.50%
南町地区	18.60%	南町3丁目	29.30%
北町地区	15.60%	北町1丁目	25.60%
中央地区	12.10%	中央1丁目	14.60%
錦町地区	5.30%	錦町1丁目	8.40%

地域ごとの傾向を丁寧に把握し、生活支援・担い手づくり・まちづくりに活かす視点も必要

目標は設定していないが、多文化共生を進める上で全体の課題や現場の声を聞き、行政としてしっかり考え、安心かつ快適に暮らせるまちをつくり上げることができるよう、可能な限り多くの方々に発信することが重要と考えている。

ほかに 「地域」ごとの外国籍住民比率、日本人・外国人双方の声を広く聴く必要性、学校での課題、地域での役割分担、国民健康保険収納率の見通し」等について質問。

一般質問

蕨駅西口駅前広場は市民が使いやすい駐輪場やトイレの整備を



録画配信

議員 駅前広場の拡幅について、市民が利用できる駅前トイレや子どもも利用しやすい駐輪場の整備における市長の見解はどうか。

新図書館の整備について

市長 蕨の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある駅前空間創出を基本として「安全性の向上」、「利便性の向上」、「快適性の向上」の整備方針を掲げた。事業を通して魅力的なまちへと発展させていく。公共公益施設の1階に共用のトイレが設置される予定。図書館を利用する子どもたちや学習スペースを利用する方へは駐輪場90分無料を拡大できるように協議していきたい。

議員 現図書館の跡地利用の検討は進められているか。乳幼児が本とふれあえるスペースや児童図書館として残してほしいとの声もあるがどうか。

総務部長 跡地等活用方針検討委員会を設置し、調査等を行っている。様々な要望を寄せていただき、今後、文化芸術の拠点として検討していく。

「子育てするならわらび」子育て支援策の拡充を

議員 具体的な工事時期はどうか。また、近隣への影響や駅利用者への影響はどうか。

議員 保育園の不承諾者数と待機児童数はどうか。

都市整備部長 夏頃に工事契約を締結し、準備期間を経て着手する予定。7番街区に続く区画街路の拡幅整備は令和9年夏頃までの施工が予定され、駅前広場本体はその後定まってくる。駅前広場や周辺

議員 保健センターで行われている「マタニティコンサート」への参加状況は。乳幼児と一緒に鑑賞できる音楽鑑賞



蕨駅西口駅前広場の鳥瞰図



やまわき のりこ

健康福祉部長 毎年12月に保健センターが文化ホールくるるへ委託して実施し、令和7年度は106名参加。児童館や地域子育て支援センター等においてもファミリーコンサートや親子コンサート等、乳幼児と一緒に鑑賞できるコンサートを実施している。母子健康手帳アプリ「わらび」等を通じて積極的に情報発信を行いたい。

ほかに 「自転車も歩行者も安全なまちづくり」について質問。

新施設のオープニングイベントは市民参加で



議員 以前、西公民館・松原会館のリニューアルにあわせて通信力ラオケを導入することを提案し、前向きな答弁であつた。導入の見通しは。

総務部長 蕨駅前公共公益施設「わらら」については、令和9年秋頃予定のオープンイベントの内容は未定だが、行政センターと図書館で協力

健康福祉部長 導入する予定。

議員 蕨駅前の行政センター・図書館や西公民館・松原会館の複合施設のオープンが来年に迫ってきた。オープニングイベントについてはどのように考えているか。

議員 ぜひ多くの市民が関わるすばらしいものとしていただきたい。

富士見グラウンド周辺の交通安全対策について

議員 ぜひ多くの市民が関わるすばらしいものとしていた
だきたい。

富士見グラウンド周辺の交通安全対策について

教育部長 西公民館・松原会館の複合施設については、地域の方と協力し、これまで施設に縁のなかった方にも足を運んでもらえるよう検討する。

議員 錦町における富士見グラウンド前の郷南公園方面からわらびりんご通りに合流する丁字路には、一時停止もなく危険ではないか。横断歩道の設置についての考えは。

市民生活部長 県の公安委員会が総合的に判断・決定し、警察が設置するものだが、市として設置要望を伝えたい。

議員 大雨時の周辺における道路冠水状況はどうか。

市民生活部長 直近3年では令和6年7月の大雨と、今年6月の台風により道路冠水が発生した。



議員 富士見グラウンド地下の雨水調整池の早期整備を求める。

錢湯の火を消すな

議員 燃料費等の高騰により
銭湯の経営は厳しいとの報道
もある。高齢者福祉入浴券支
給事業の現状はどうか。

健康福祉部長 70歳以上の世帯全員が市民税非課税世帯、または65歳以上で自宅に入浴設備がない方に年間52枚の福祉入浴券を配布していて、令和7年度は対象者4998名のうち1060名に交付し、利用率は約42%であった。

議員 銭湯は健康・リラック
ス効果はもとより、コミュニ
ケーションの場や外出のきつ
かけ等の効果が期待できる。
利用者拡大のため本事業の対
象者の拡大や、小学生等に無
料券を配布してはどうか。

市長 公衆浴場の利用者が減っている中で、燃料費が高騰し大変だとも聞く。支援の在り方について考えていきたい。

前川 やすえ 議員（わらび未来の会）

中央第一地区まちづくり
事業について

録画配信

中央第一地区まちづくり
事業について



議員 中心市街地活性化プランで掲げる回遊性を生み出すまちづくりのコンセプトとの関連性についてはどのようなか。

都市整備部長 リニューアル

誰もが楽しく行き交える空間形成を目指す。今回の整備は

歩行空間の充実に加え、商店街や周辺施設への回遊性を生み出すまちづくりを具現化する取り組みの一つである。

議員 今回の駅前通り整備で拡幅されない区間についてはどのような。

都市整備部長 地区施設の対
象外であり、新たな用地取得

蕨駅西口地区市街地
再開発事業について

議員 公共公益施設「わらわ」の行政センターについての考



えはどのようか。

総務部長 行政センターでは、転出入に関連する手続や各種

証明書の交付に加え、新たにパスポートの申請交付等の取り扱いを予定しており、平日は午後8時まで、土・日・祝日も開所することで、市役所閉庁日でも利用可能となるよう準備を進めている。

議員 行政センターが開設することにより、市民課の業務改善がどの程度図られると想定されているか。

市民生活部長 駅前の利便性に加え、受付時間の幅が広がるため、来庁者が分散して市

庁舎の来庁者数が減ると予想

議員 市民サービスの改善に向けて配慮をお願いする。

新病院整備の取り組みについて

議員 新病院の基本設計案に
変更が生じる場合の影響につ
いてどのように考えるか。

病院事務局長 基本設計案の変更により、仮に病床数の減少等があれば、県の南部地域医療構想調整会議に報告する
なお、設計作業の遅延等の影響はないという認識である。

議員 基本設計案に関する市長の見解はどのようなか。

市長 外部アドバイザーから具体的な提案等を受けて、対応の可否について業者とキャッチボールしながら作業を進めている。議会の皆さんの意見も取り入れて、8月に実施設計の作業に入っていきたい

議員 基本設計案が固まり次第、議会への報告を要望する

議員 基本設計案が固まり次第、議会への報告を要望する

体育館改修事業「市民体育館改修工事設計委託」について



録画配信



こばやし りき

議員 市民体育館は、施設管理の面では教育委員会、災害時の避難所としては市民生活部、建物や設備の技術的な面では都市整備部が関わる、市民にとって大変重要な施設であり、部局の立場を超えて、共通の方向性を持って進めていくことが大切だと考える。

議員 部長と意見が空転して今日に至っている。このことについてどのように考えるか。

教育部長 専門業者の知恵もいただいて、より良いものを設置できるよう幅広く検討をしていきたいというような思いでお答えをした。説明不足もあり、今後、答弁の際にはより修練を重ねていきたい。

議員 お互いに気をつけながら取り組んでいくことをお願いする。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

多文化共生社会の推進について

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

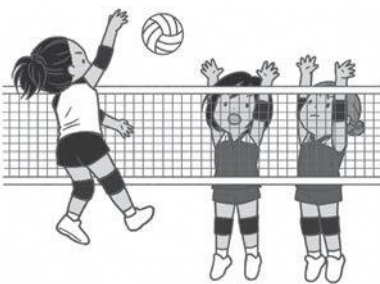
議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。

議員 「郷に入っては郷に従え」という考え方が重要と考える。例えば、看板やQRコードで日本の文化やルールを分かりやすく伝え、知ってもらうことで、共通認識が生まれ、と思うがいかがか。



市民体育館のエアコン整備により猛暑でも快適に利用できる

議員おすすめスポット

議員おすすめスポットをご紹介します！マップ上に13ページと同じ番号が掲載されていますので、気になるスポットをチェックしてみましょう。また、市では「蕨市ウォーキングマップ」を配布しており、ウォーキングに適した経路のモデルルート（8000歩、4000歩で巡るコース）を紹介していますので、皆さんもウォーキングで健幸づくりを始めてみませんか。



宮下奈美議員 おすすめ

① わらびりんご公園



子どもやお年寄り、犬の散歩で集うわらびりんご公園。健康遊具も人気です

鈴木慎乃助議員 おすすめ

② 郷南公園



桜風景を見て疲れを吹っ飛ばす！

金丸けんじ議員 おすすめ

③ 塚越稲荷神社・機神社



木陰もあり四季折々に出迎えていただけます。散歩コースにぜひ♪

岡田みきお議員 おすすめ

④ せせらぎ公園



水辺と緑が心を癒す、南町のせせらぎ公園へぜひ

庄野航二議員 おすすめ

⑤ 要害通り



ここには昔、河童がいたとか、いないとか

矢嶋聡子議員 おすすめ

⑥ 歴史民俗資料館分館



門をくぐれば、そこは江戸

武下涼議員 おすすめ

⑦ 記念樹公園



三学院前にある記念樹公園。健康遊具でストレッチができます

榎本和孝議員 おすすめ

⑧ 蕨市民体育館



雨の日でもランニングコースでウォーキングできます

栃本よしかね議員 おすすめ

⑨ 南町桜並木遊歩道



桜の名所、歩くたびに季節を感じる遊歩道、心も体もリフレッシュ！

大石圭子議員 おすすめ

⑩ あづま公園から青木町公園まで



塚越7丁目のあづま公園から青木町公園まで530m ずっと公園。お花見どころ

古川歩議員 おすすめ

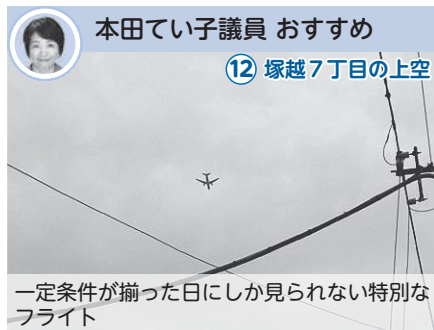
⑪ 和楽備神社



蕨市の鎮守の杜。木陰と静寂が心身を癒すパワースポットです

本田てい子議員 おすすめ

⑫ 塚越7丁目の上空



一定条件が揃った日にしか見られない特別なフライト

鈴木智議員 おすすめ

⑬ 中山道



歴史的な建物や高札風案内板など、蕨宿の風情を感じる中山道通り

山脇紀子議員 おすすめ

⑭ 大荒田交通公園



子どもの頃から自転車公園やSL公園と呼ばれ遊んでいた場所です

小林利規議員 おすすめ

⑮ 三蔵院



歴史と祈りが息づく地域の古刹

比企孝司議員 おすすめ

⑯ 塚越親水公園



緑川と塚越ポンプ場の間の小道。木陰で一休みにはうってつけです

前川やすえ議員 おすすめ

⑰ 塚越跨線人道橋からの風景



蕨の変わっていく様と子どもたちが手を振るようになる場所です

大石幸一議員 おすすめ

⑱ 北町1丁目2番の広場



川口藤陸橋近くのこの場所では春に満開の桜が見られます



第11回 議会報告会を開催します!



11回目となる今年度の議会報告会を下記の日程・会場で開催します。

当日は『インターネットでの同時配信』を行い、後日『ケーブルテレビ「ウインク」の放送』と『インターネットでの動画配信』をする予定です。報告する内容などの詳細については、決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

事前の申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。また、会場に来られない方については、インターネットでの同時配信をぜひご覧ください。



日時 **11月14日(土) 10:00~11:00**

場所 **蕨市民体育館 小体育室
(北町1-27-15)**

インターネットで同時配信します!
《ケーブルテレビ「ウインク」放送予定》
11月27日(金)~12月3日(木)



議会報告会の同時配信・録画配信・議会ツアーの動画等もこちらからご視聴いただけます。

議会報告会に関するお問い合わせは議会事務局 (048-433-7733) まで

◆編集後記◆

海、プール、夏まつり、かき氷……。子どもの頃は、夏の楽しみは「暑さ」と一体だったような気がします。しかし、最近の様子は少し変わってしまっただけです。

最高気温40度以上の日を表す「酷暑日」。この気象用語が4月に新設されると、7月21日に岐阜県と愛知県の3か所が全国初の酷暑日に。さらに各地初の酷暑日が報じられました。

「不要不急の外出は避けましょう」と呼びかけられ、市民への影響、人命にかかわる事態も生じています。

地球温暖化は人類存続にも関わる大問題。対策のカーボンニュートラルは国際的な課題であるとともに市議会でも重要な論点です。1日からの9月議会。市民の願いに基づき熱い議論が期待されます。ただし気温は、少しでも落ち着くことを願うばかりです。

広報広聴委員会

委員長 岡田みきお
副委員長 金丸けんじ
委員 宮下 奈美
鈴木 慎乃助
庄野 航二
矢嶋 聡子
榎本 和孝
鈴木 圭智
大石 歩
古川 歩